

**日本初！対歩行者自動ブレーキの評価を開始！**  
**今回評価した11車種の自動ブレーキは歩行者にも対応します！**  
～平成28年度前期自動車アセスメントの評価結果を公表します～

- ・ 交通事故による死者のうち、歩行者が約37%（平成27年）と最も高い割合を占めており、車両の安全対策として、歩行者事故防止への対策が喫緊の課題です。
- ・ このため、自動車アセスメントにおいて今年度より新たに「対歩行者自動ブレーキ※」の評価を開始し、11車種の評価を行いました。
- ・ 今回評価した11車種全てが予防安全性能の総合評価で最高ランク ASV++（71点満点中46点超）を獲得しました。最高得点は70.5点（71点満点）を獲得したマツダ(株)のアクセラです。

※ 自動ブレーキの正式名称は、衝突被害軽減制御装置（略称：AEB S）

**<平成28年度前期自動車アセスメント評価結果のポイント>**

○**予防安全性能評価（別紙1参照）**

- ・ 乗用車11車種について評価を実施 （五十音順）

メーカー（車種数）	評価対象となった11車種	
スズキ（1車種）	イグニス	
スバル（4車種）	インプレッサ、フォレスター、レヴォーグ/WRX、レガシイ	
トヨタ（2車種）	クラウン アスリート/クラウン ロイヤル/クラウン マジェスタ、プリウス	
レクサス（2車種）	GS/GS F, RX	
ホンダ（1車種）	フリード/フリード+	
マツダ（1車種）	アクセラ	



総合評価：自動ブレーキ（対車両・対歩行者）、車線はみ出し警報、バックビューモニターの4つの試験の合計得点による評価をいう。

- ・ 今回評価した11車種はすべて総合評価でASV++（最高ランク）を獲得
- ・ 対歩行者自動ブレーキについては、マツダ(株)のアクセラが最高24.5点/25点満点を記録

※各装置はドライバーを補助するシステムであり、万能ではありません。気象条件や周囲の環境、路面状態等によってはシステムが作動しない場合や十分な効果を発揮しない場合があります。

○**衝突安全性能評価（別紙2参照）**

- ・ 乗用車3車種、軽自動車1車種の計4車種について評価を実施
- ・ 4車種中2車種がファイブスター賞を獲得



<予防安全性能評価>試験の例  
～対歩行者自動ブレーキ試験～



<衝突安全性能評価>試験の例  
～フルラップ前面衝突試験～



※評価結果の詳細については、以下のホームページでもご覧いただけますのでご参照ください。

独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）<http://www.nasva.go.jp/mamoru/index.html>



**【お問い合わせ先】**  
国土交通省 自動車局 技術政策課 蛸原 井上  
電話：03-5253-8111（内線：42253）  
直通：03-5253-8591 FAX：03-5253-1639